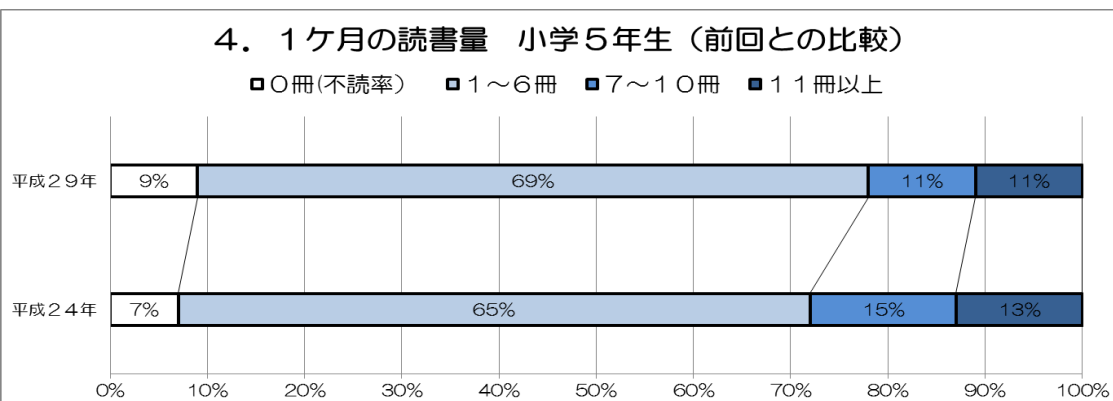
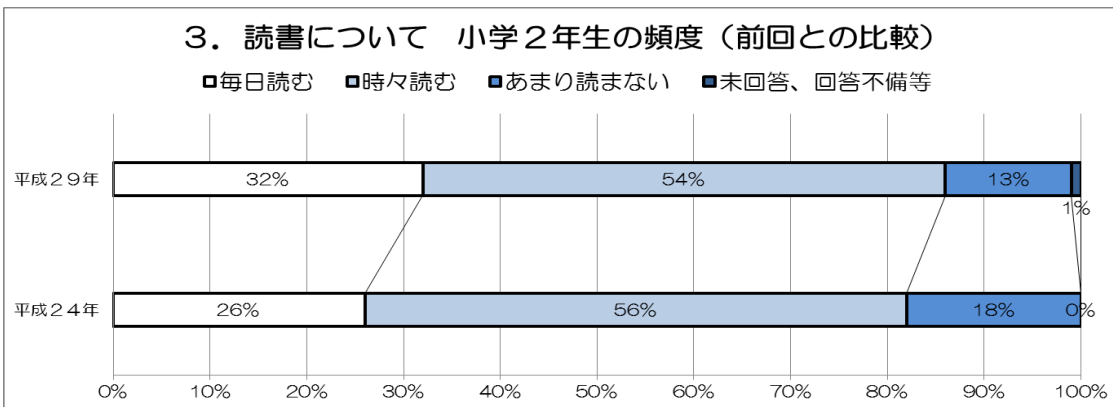
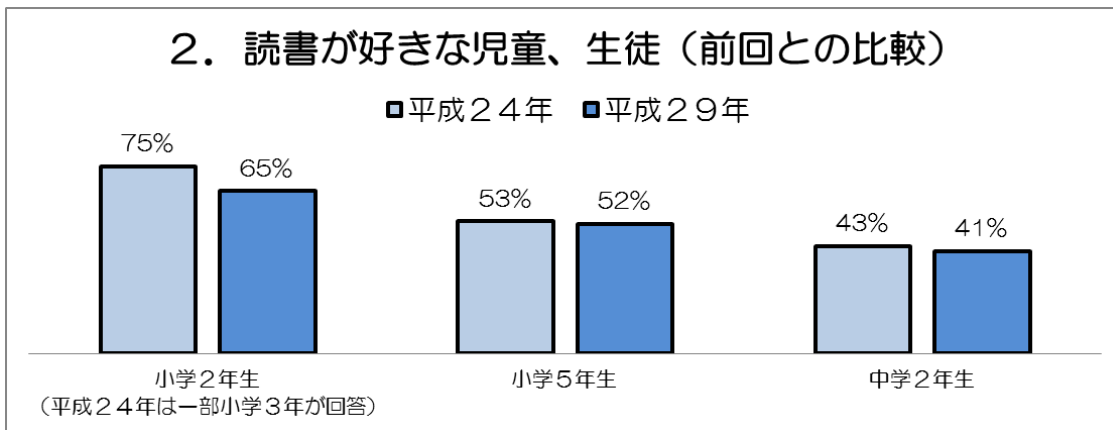
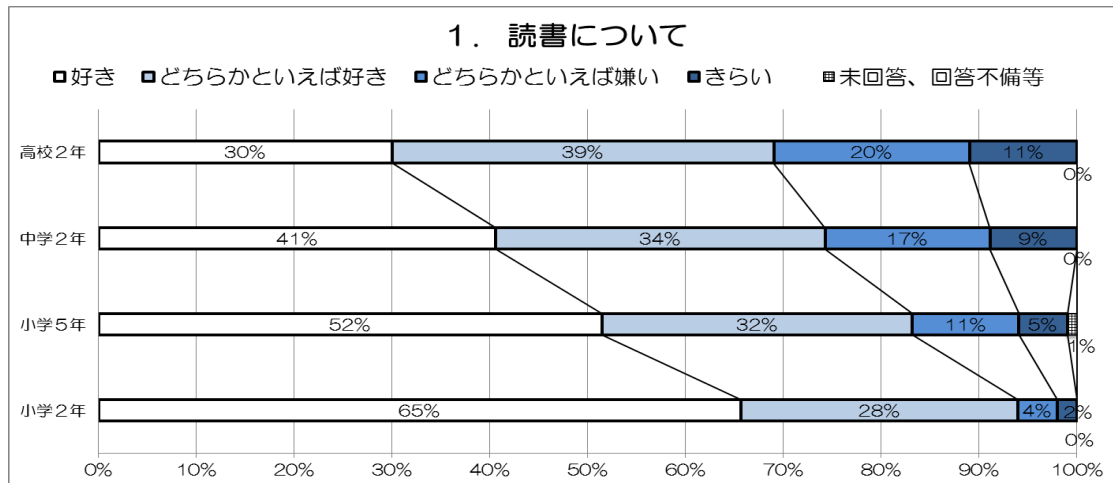
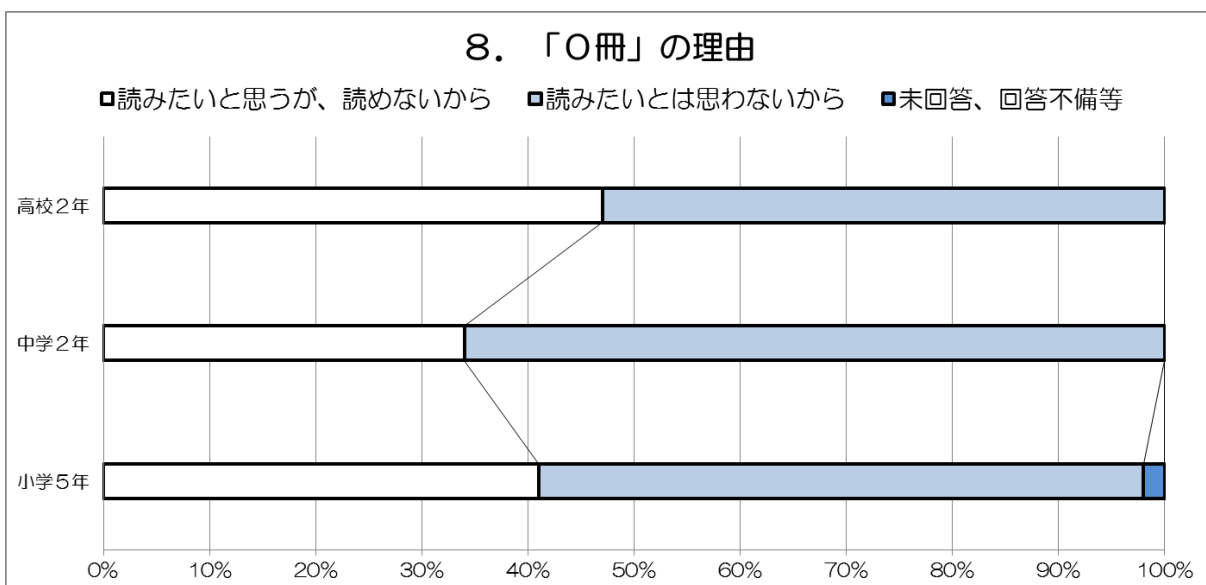
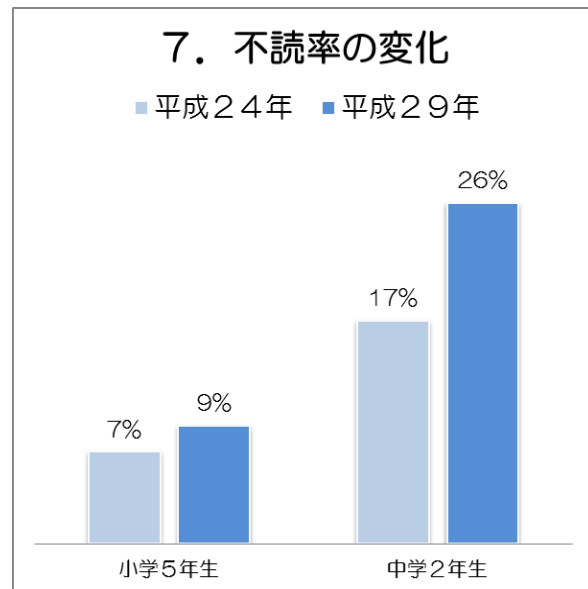
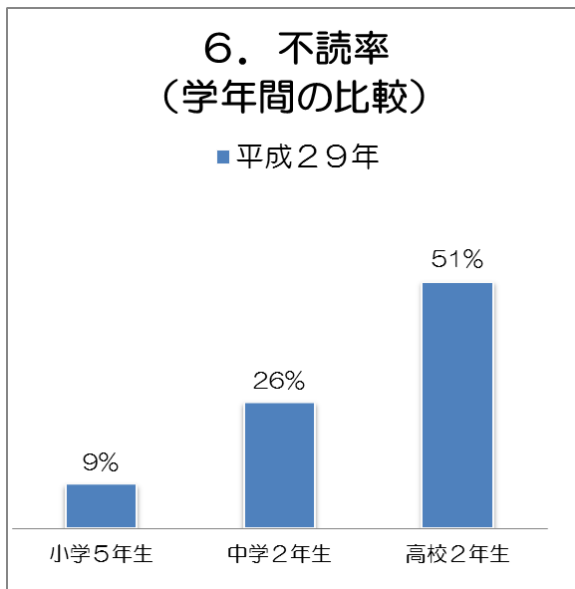
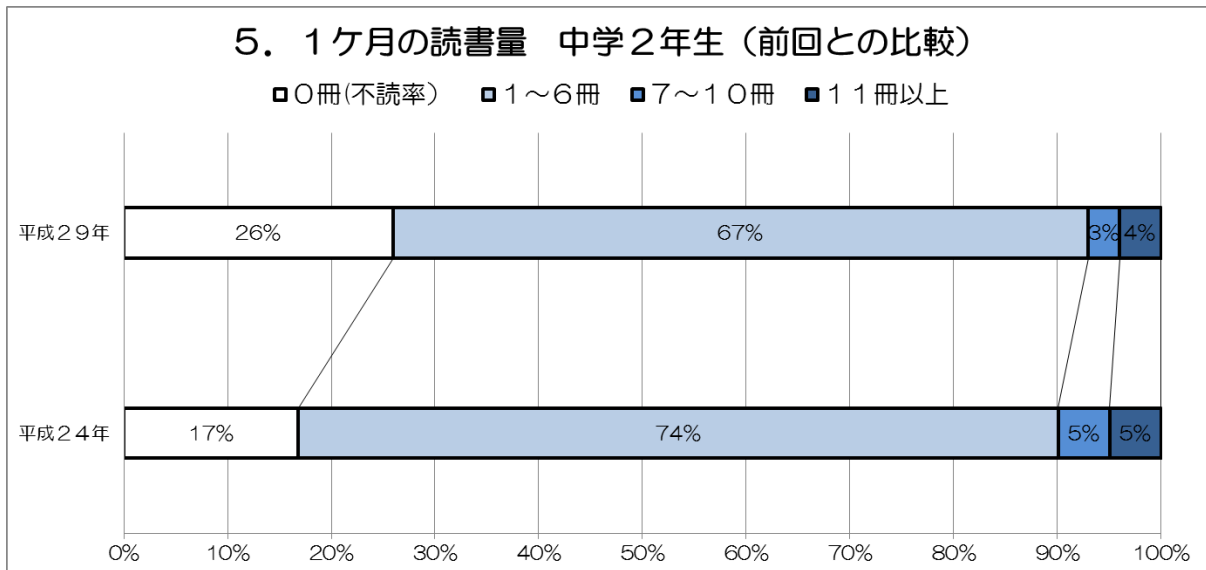
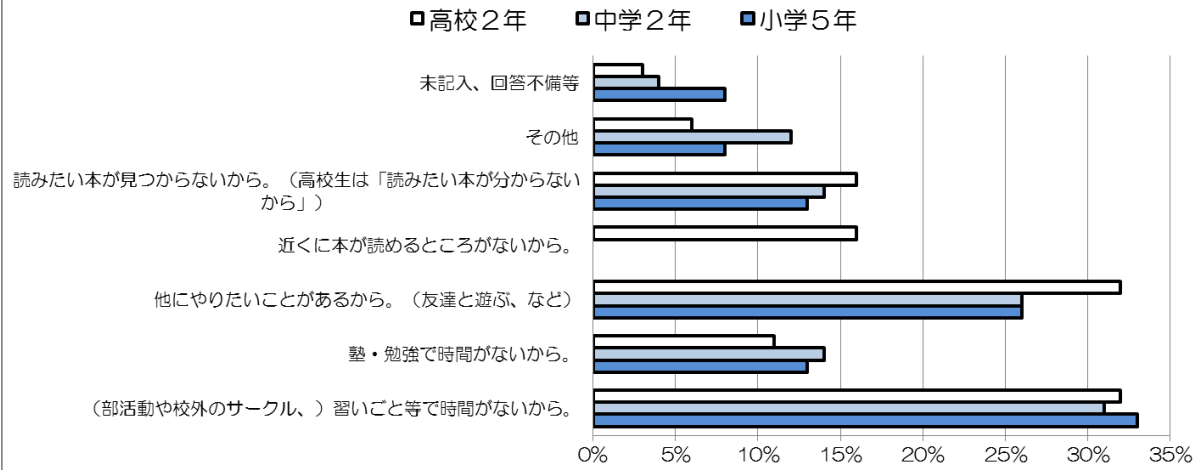


## 小学生・中学生・高校生の比較

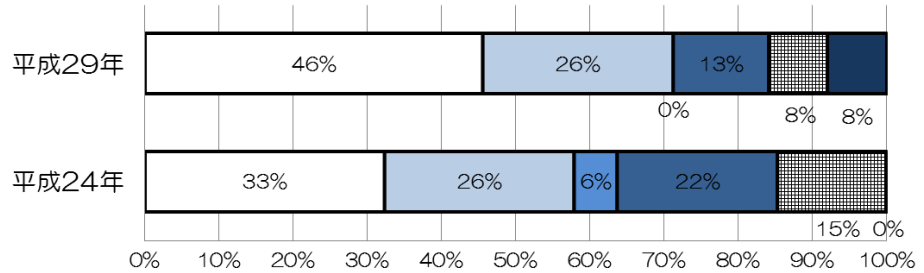




### 9. 「読みたいと思うが読めないから」の理由

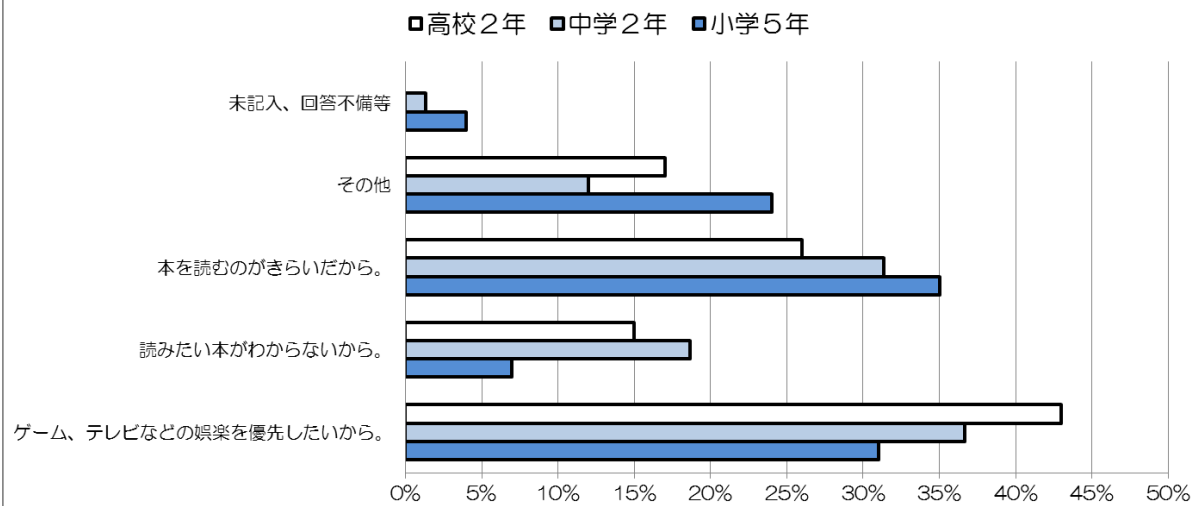


### 10. 「読みたいと思うが読めないから」の理由 (小学5年 前回との比較)

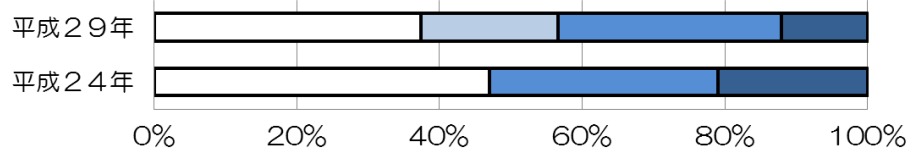


	平成24年	平成29年
■習いごとや塾で時間がないから	33%	46%
■あそび・スポーツで時間がないから	26%	26%
■近くに本が読めるところがないから	6%	0%
■読みたい本が見つからないから (分からないから)	22%	13%
■その他	15%	8%
■未回答、回答不備等	0%	8%

### 11. 「読みたいと思わないから」の理由



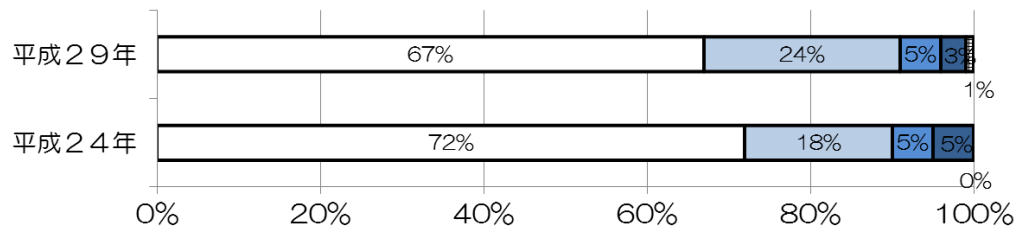
### 12. 「読みたいと思わないから」の理由 (中2 前回との比較)



	平成24年	平成29年
□ゲーム、テレビなどの娯楽を優先したいから	47%	37%
□読みたい本がわからないから(平成29年のみを選択肢)	0%	19%
■本を読むのがきらいだから	32%	31%
■その他	21%	12%

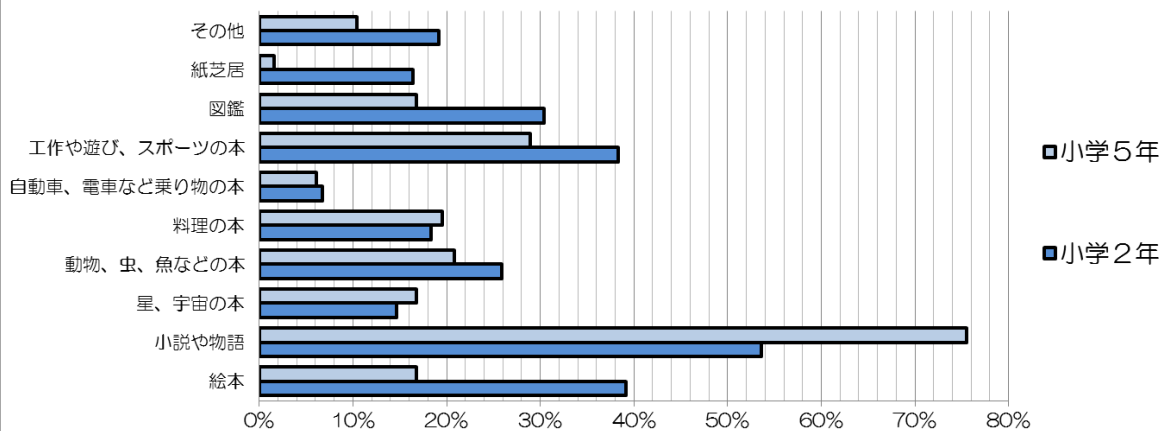
### 13. 本を読んでもらうこと等について(小2 前回との比較)

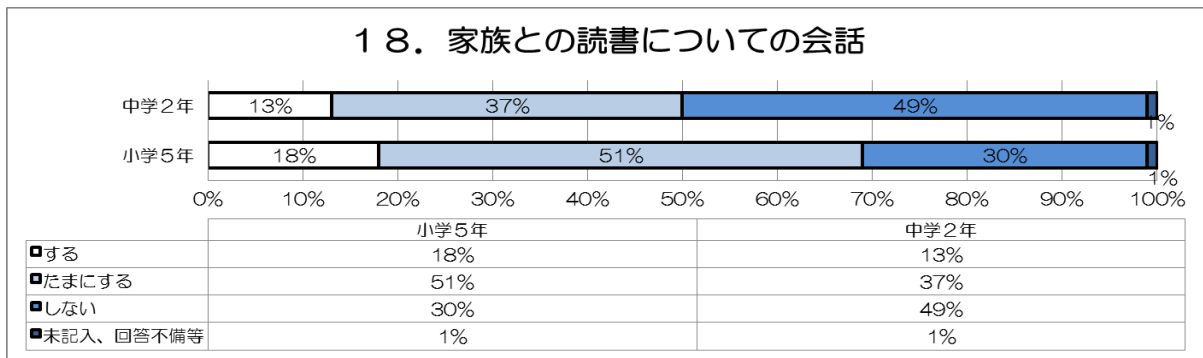
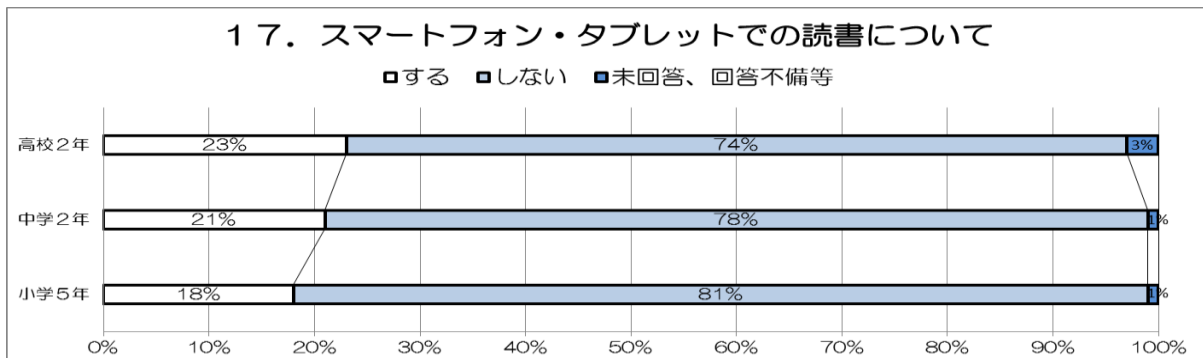
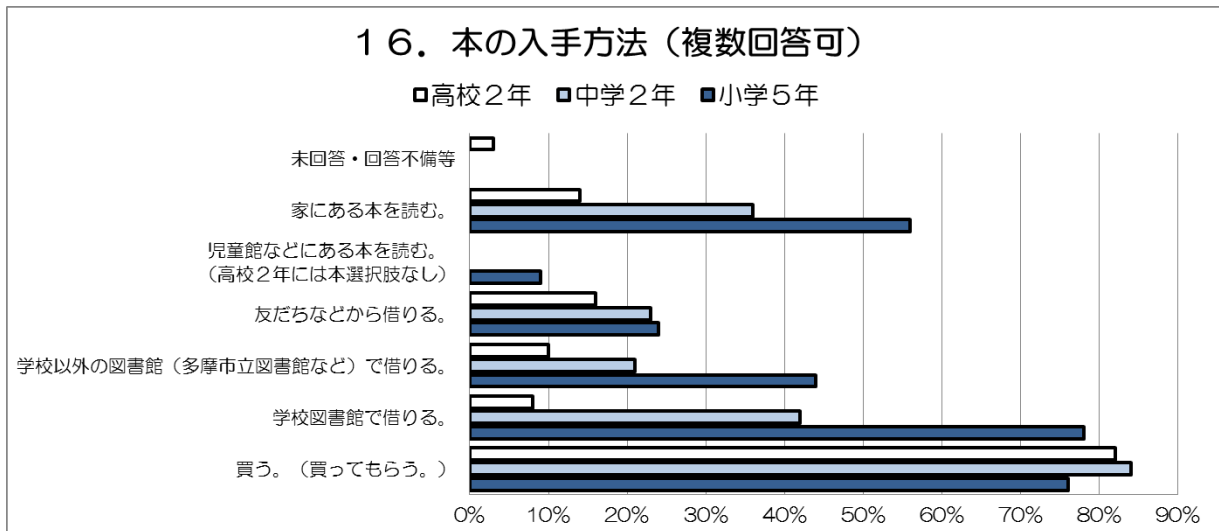
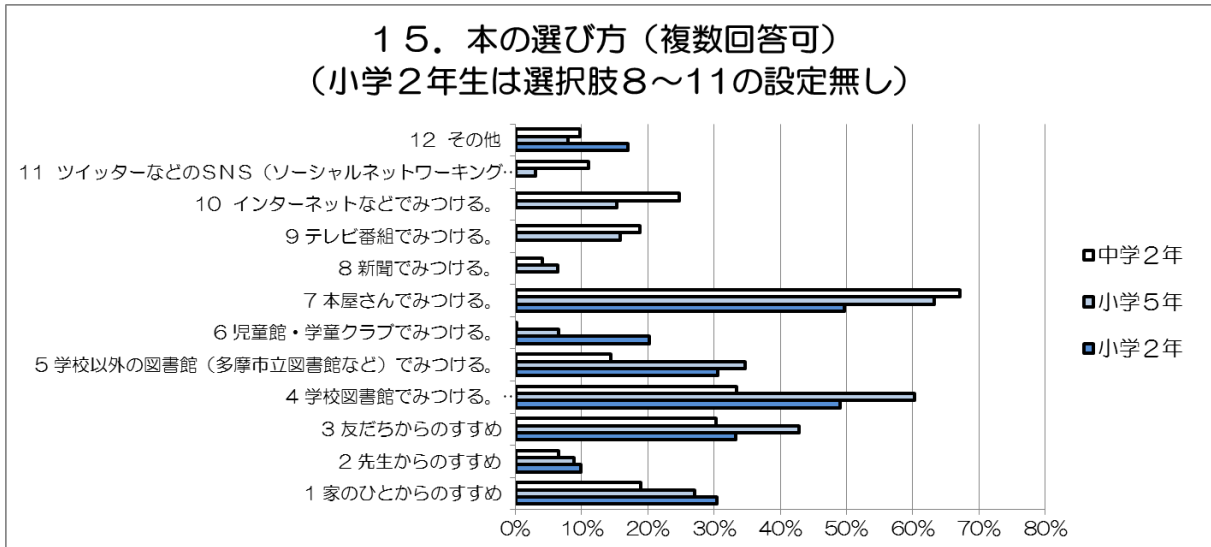
□好き □どちらかといえば好き ■どちらかといえばきらい ■きらい ■未回答、回答不備等

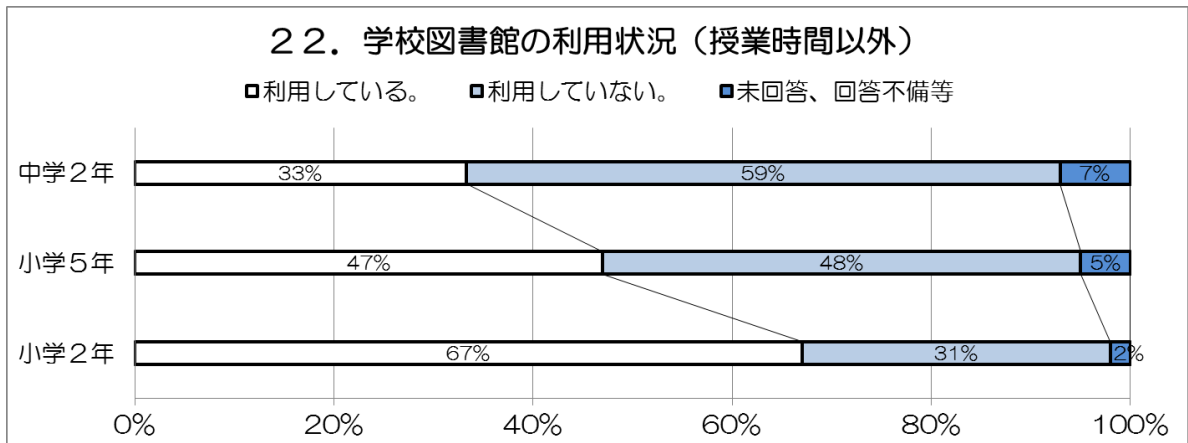
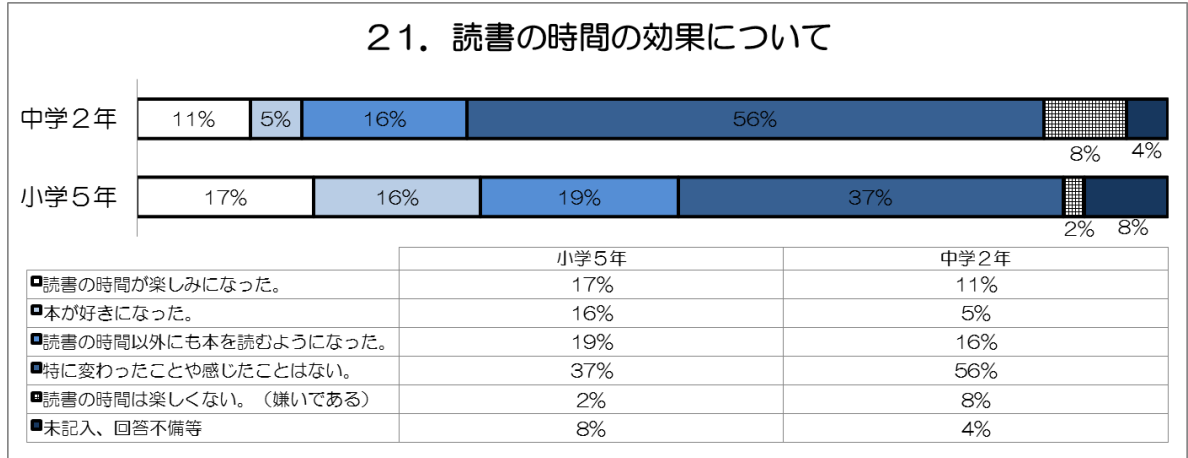
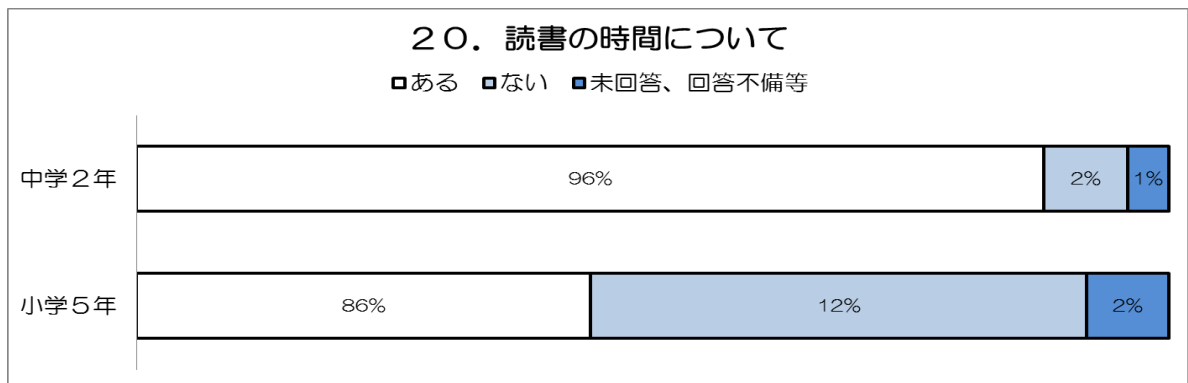
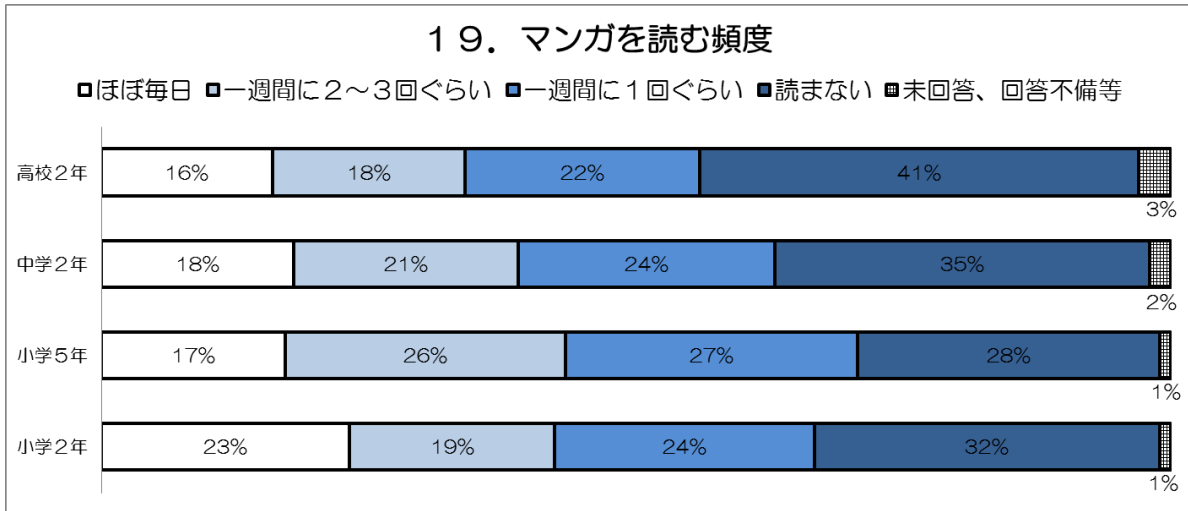


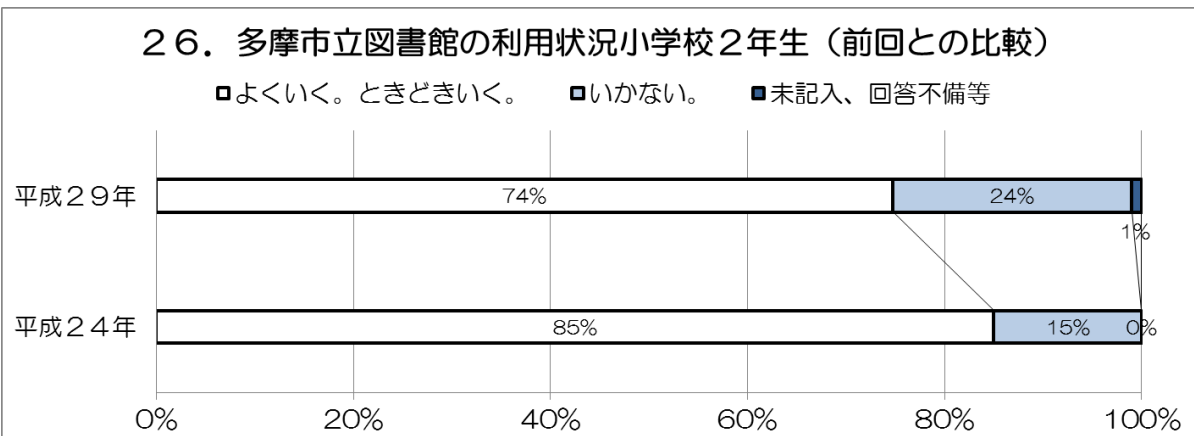
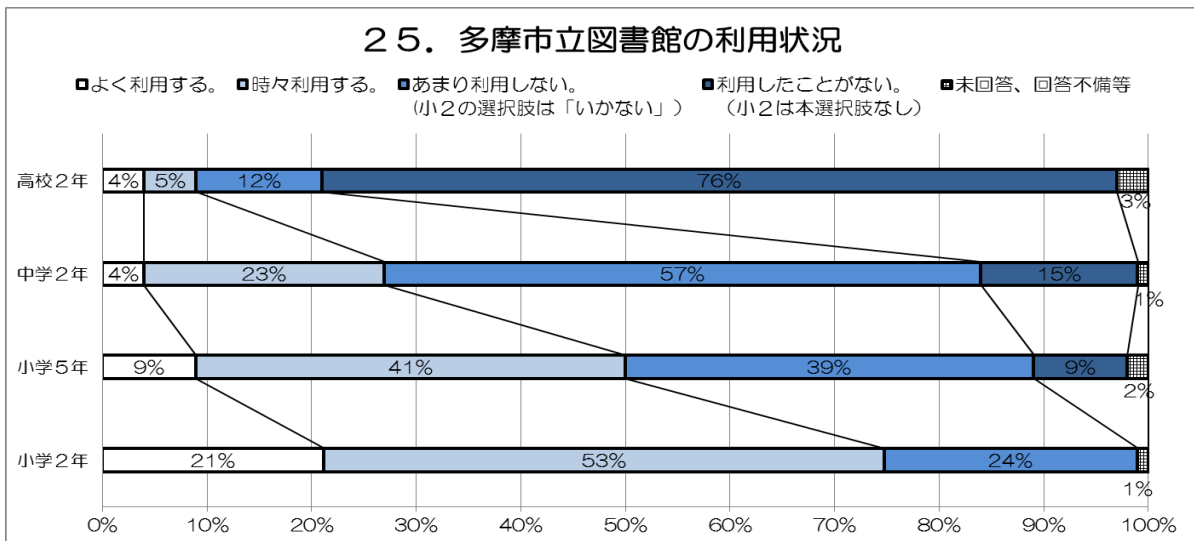
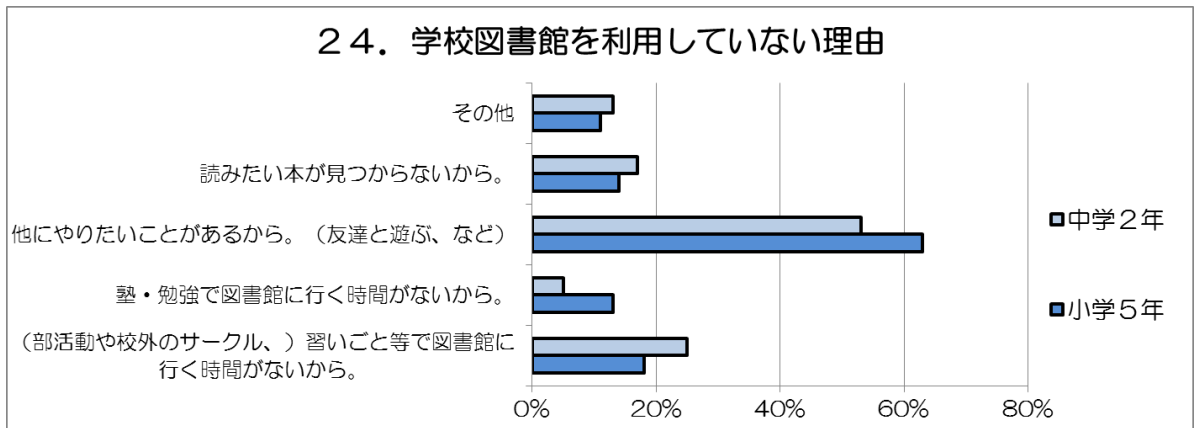
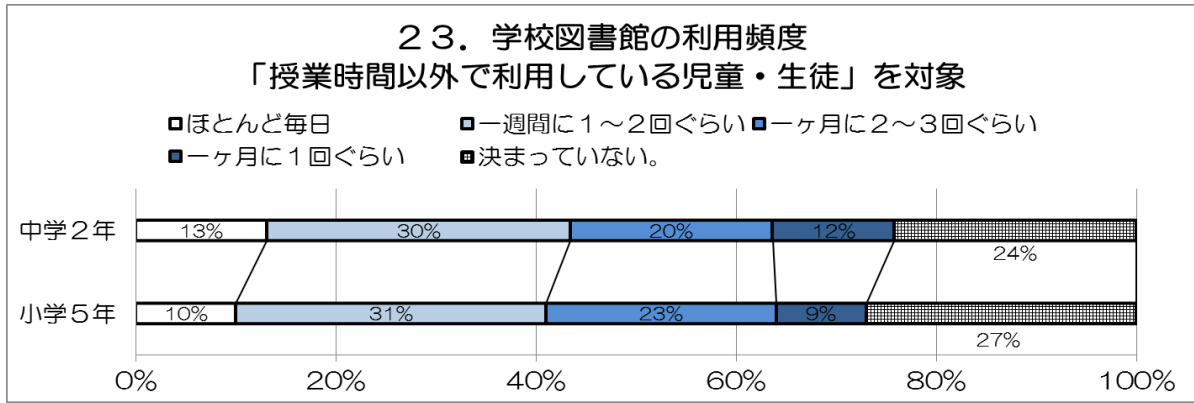
	平成24年	平成29年
□好き	72%	67%
□どちらかといえば好き	18%	24%
■どちらかといえばきらい	5%	5%
■きらい	5%	3%
■未回答、回答不備等	0%	1%

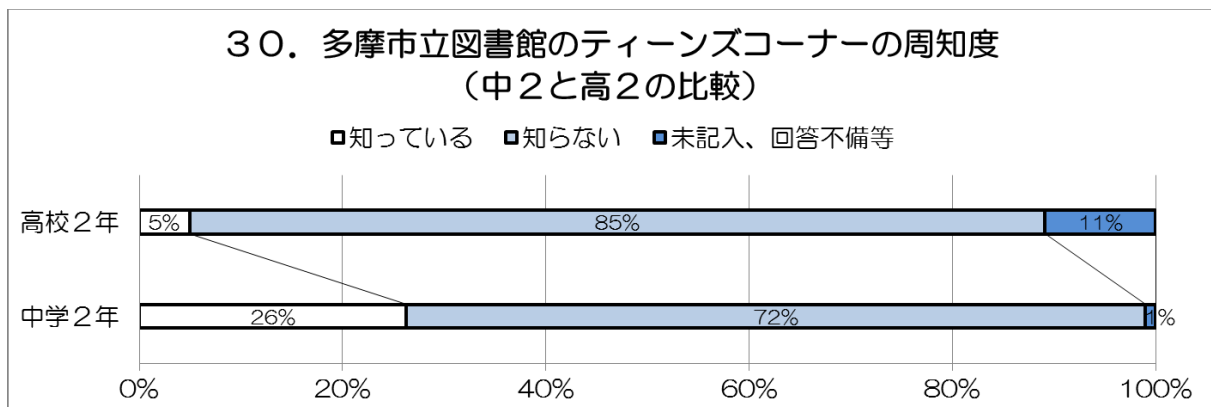
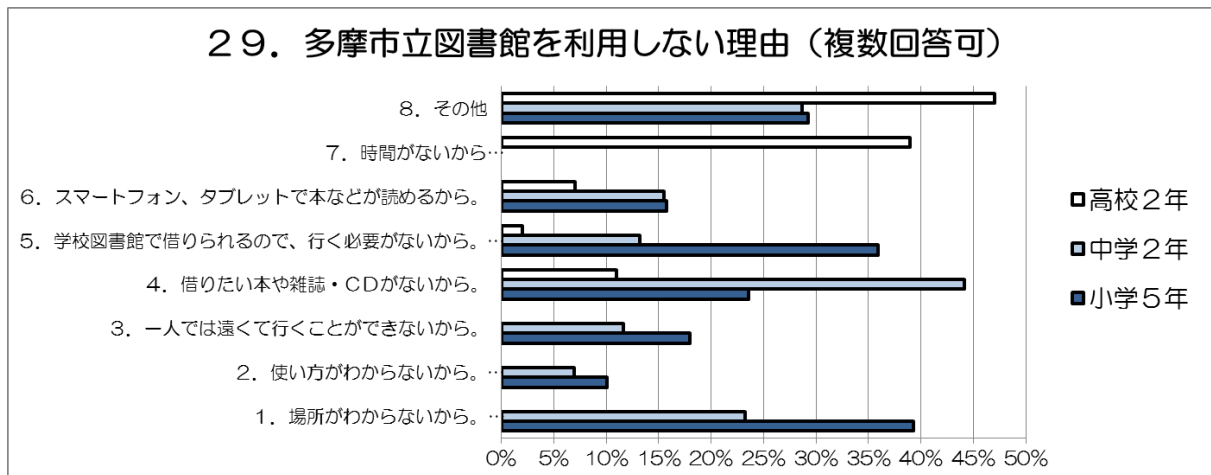
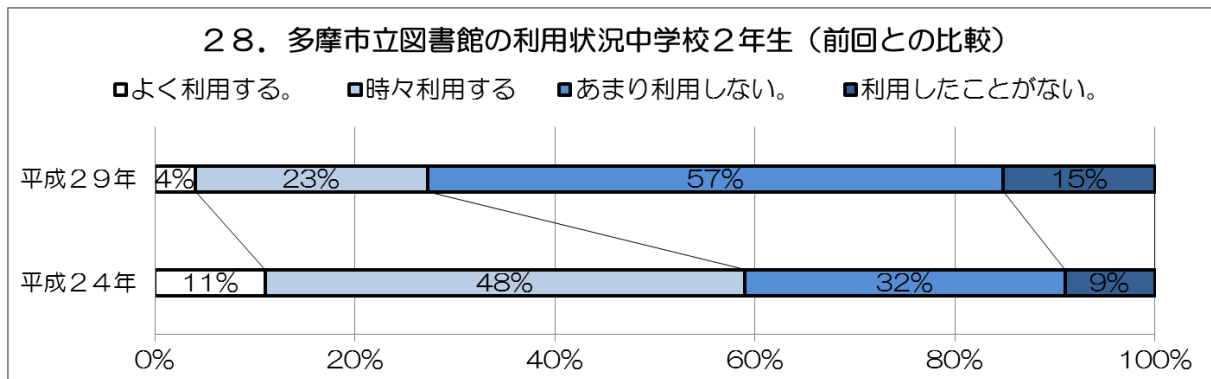
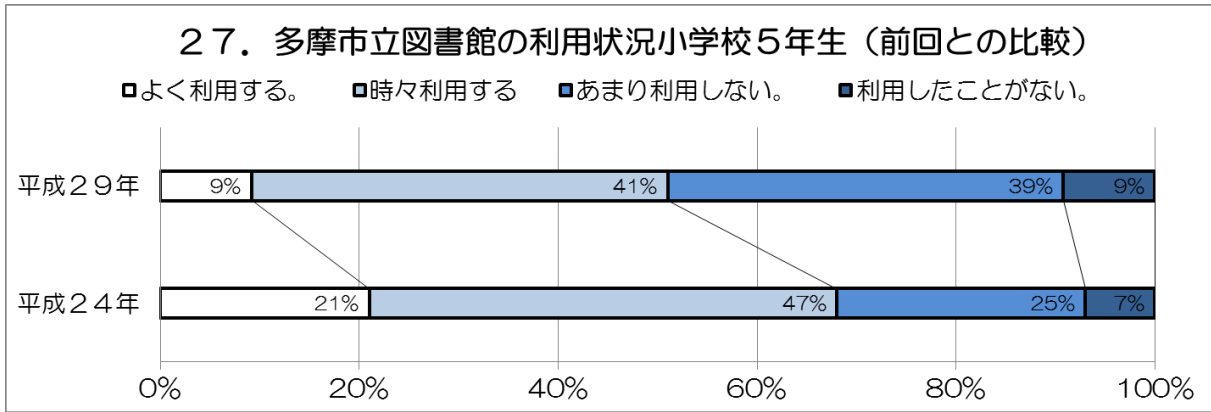
### 14. 好きな本の分野(3つ選択。マンガを除く)







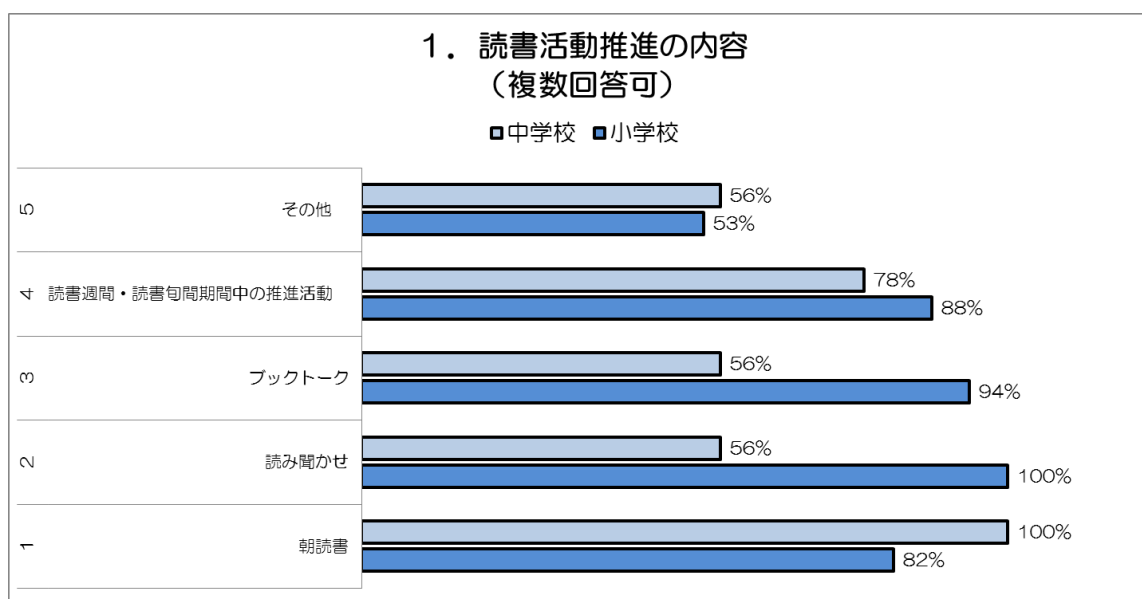






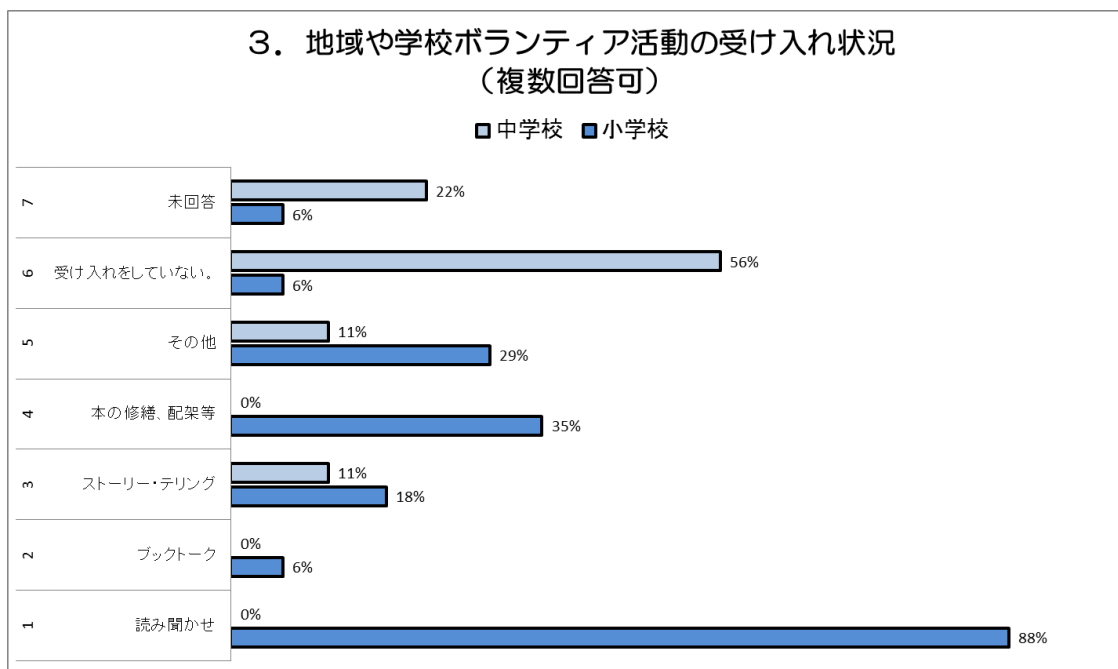
## 市立小学校・中学校の司書教諭・学校図書館司書への 読書活動等に関するアンケート結果

(回答校数：小学校17校、中学校9校)



### 2. 1. の頻度 (最も多い回答)

- 朝読書 小学校 週1回(10校) 中学校 毎日(6校)
- 読み聞かせ 小学校 週1回(12校) 中学校 年1回、その他(各2校)
- ブックトーク 小学校 学期に1回(8校) 中学校 学期に1回、その他(各2校)
- 読書週間・読書旬間期間中の推進活動 小学校 年2回(8校) 中学校 年1回(2校)



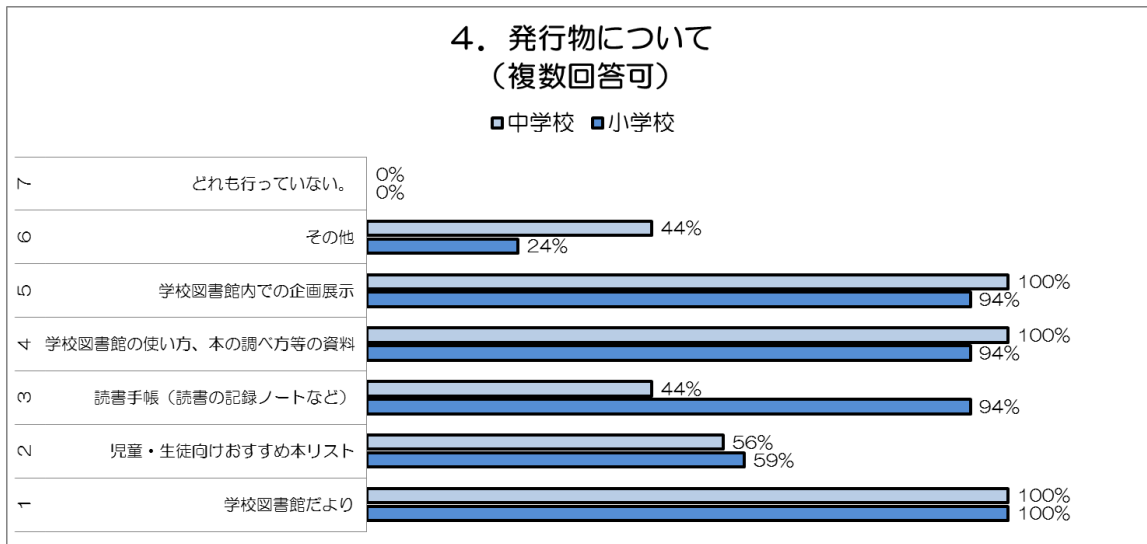
#### その他の内容 (主な回答)

小学校 ・ 掲示板の飾りつけ ・ クリスマス劇 ・ 図書館内環境整備 (清掃や装飾) ・ 蔵書点検  
・ 学校 PTA からの寄付での図書購入

中学校 ・ 放課後の貸出 ・ 館内装飾 ・ 蔵書点検の手伝い

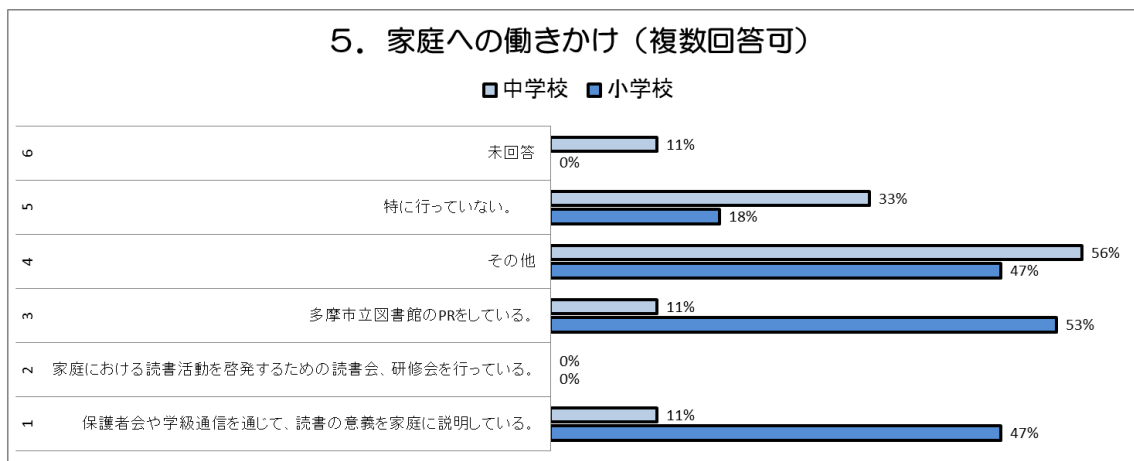
#### 受け入れをしていない理由 (主な回答)

小学校 ・ 特に申し出がないから。 中学校 ・ 方針として受け入れをしていない、必要を感じていない



その他(主な回答)

- 小学校 ・学年別 ・オリンピック、パラリンピック ・季節に合わせた資料展示 ・新刊案内  
 ・調べ学習パスファインダー ・読書記録カード  
 中学校 ・夏休みの課題のためや調べ学習のためのパスファインダー ・渡り廊下に貼る掲示物  
 ・学習に即したプリント ・校長室前での企画掲示

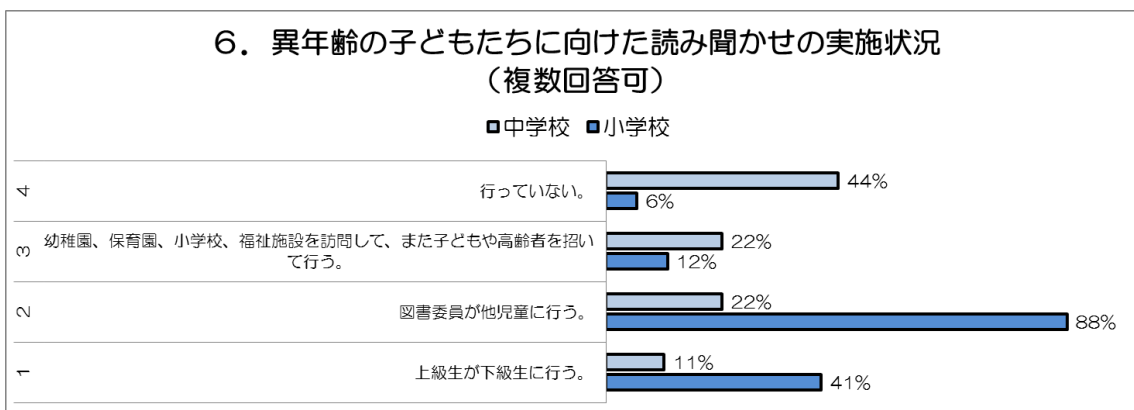


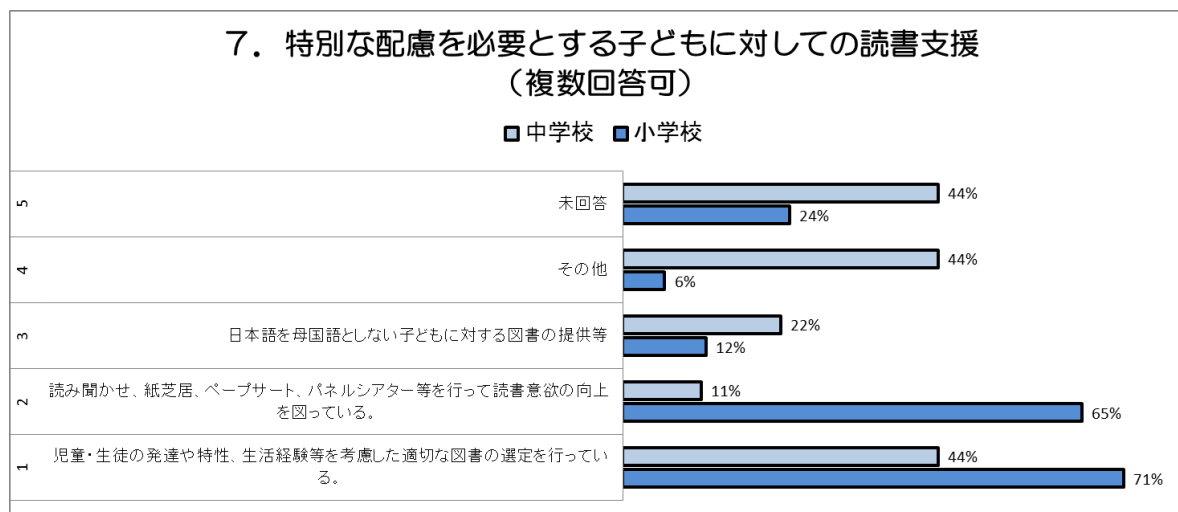
その他(主な回答)

- 小学校 ・親子読書 ・図書館だよりの活用  
 中学校 ・保護者を意識した学校図書館だよりの作成と有効活用 ・学校HPへのアップ

特に行っていない理由(主な回答)

- 小学校 ・やりたいと思っているが出来なかった ・保護者に朝の読み聞かせを行っているから  
 ・クラスによっては取り組んでいるところもある。  
 中学校 ・機会を逸してしまった

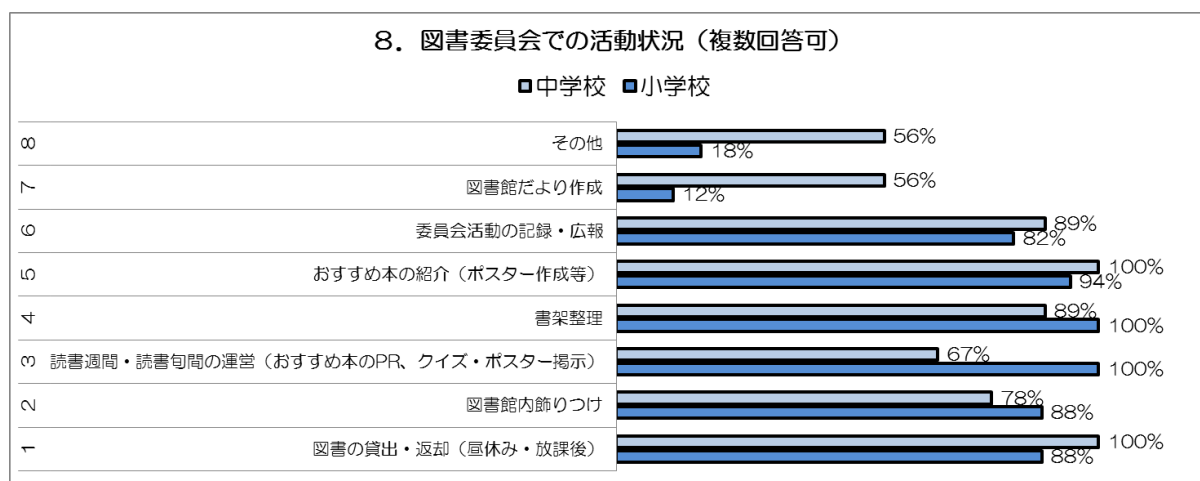




その他 (主な回答)

小学校 ・読書版の貸出

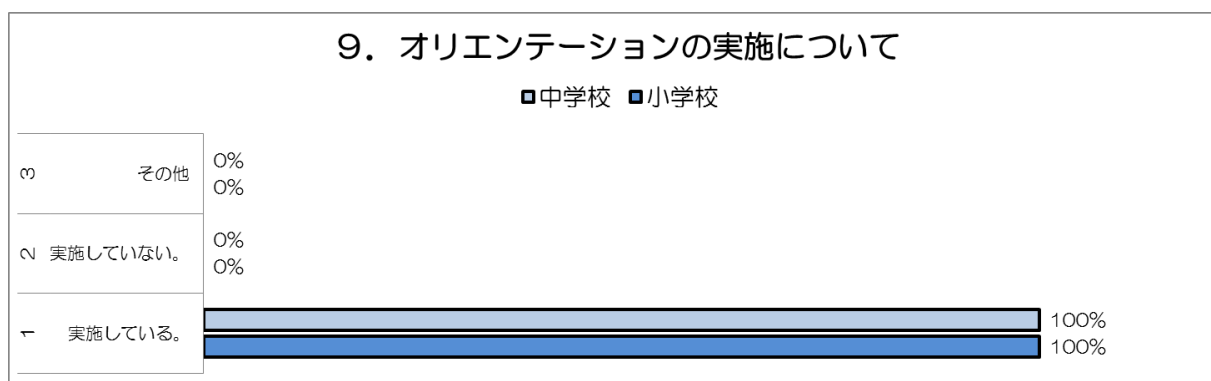
中学校 ・公立図書館と提携した適切な資料の提供 ・特別支援学級の授業におけるブックトークや読み聞かせの実施  
 実施 ・発達障害に関する研究会への参加 ・図書館での調べ学習の支援



その他 (主な回答)

小学校 ・集会時や休み時間におけるビブリオバトルの実施 ・集会で物語や絵本をもとにした劇を行う  
 ・しおり・本のおすすめポップ作り

中学校 ・放課後の図書室の清掃 ・学級文庫の管理 ・学年毎のブックトーク・イベントの企画 ・通信誌の発行



小学校

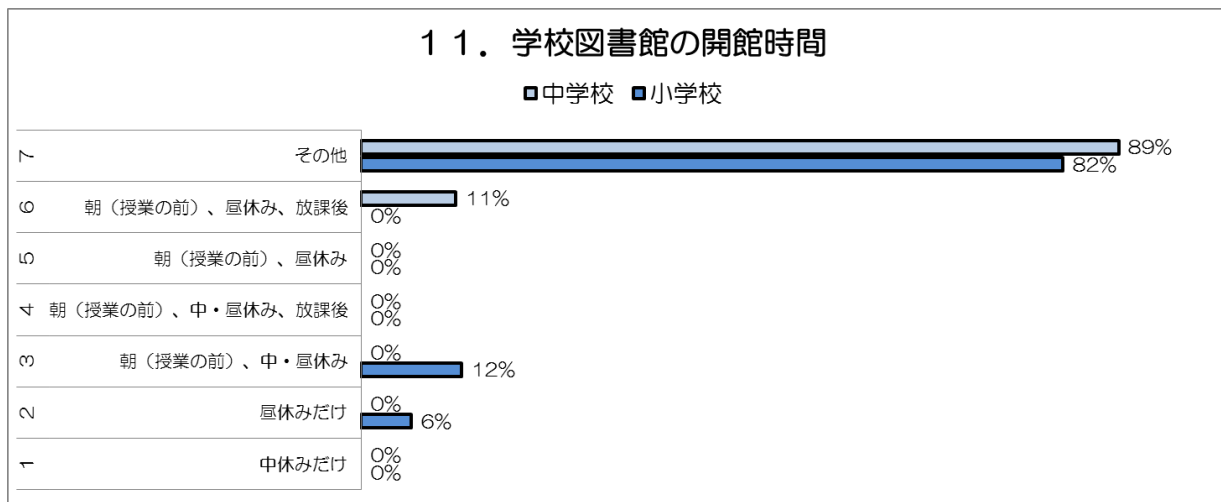
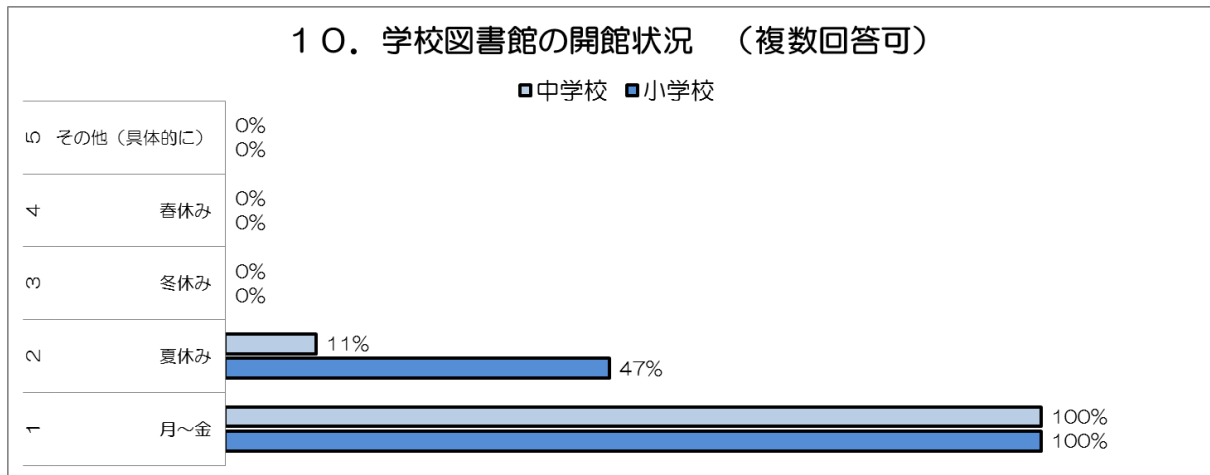
(対象) 全学年 10校、新1年 1校、その他・不明 6校

(頻度) 年1回以上 2校、年1回 15校 (実施時期) 年度初め等 17校

中学校

(対象) 1年生 8校、不明 1校

(頻度) 年2回 1校、年1回 8校 (実施時期) 4月 8校、不明 1校



その他（具体的に）

小学校 中休み・昼休み 10校、中休み・放課後 1校、中休み・昼休み・放課後 1校

中学校 昼休み・放課後 5校、10～16時 2校、その他 1校

## 12. 学校図書館における蔵書構成で工夫している点、課題等（主な回答）

小学校

工夫している点

- ・総合学習への対応 ・購入にあたり先生、児童の意見を聞く。 ・教科書に載っている本、全年齢にかたよりにくなく読める本の購入
- ・古い本の廃棄とバランス（絵本、読み物、調べ学習、児童の娯楽欲求を満たす本等）を考えた購入

課題

- ・予算が少なく新しい本、資料に更新することができない。蔵書不足等。
- ・調べ学習に使う本が別の部屋にあるので、分類について意識しづらい。 ・掲示できるスペースが少ない。

中学校

工夫している点

- ・読み物だけではなく、総合学習に必要な資料、国語の教科書に掲載された本、ジュニア新書、伝記本等の購入
- ・配架の工夫（時代別、テーマ別、わかりやすい分類、見出し板の活用等）
- ・各教科の先生に図書室の資料を実際に見てもらって、廃棄や購入を検討している。
- ・生徒の好みや流行に迎合せず、学校図書館の役割を考えて選書している。
- ・能力にあう本があるように、硬軟取り混ぜ、学習から娯楽まで「読める本がある」状態を心がけている。

課題

- ・予算が少なく、図書を新しくすることができない。（特に学術書、専門書、百科辞典等。社会科学、自然科学分野のもの） ・木製の書棚で入る本の大きさが限られているため、横に倒して配架している本がある。
- ・新聞を購読したい。 ・読み物の本が多くなりがち（予算が限られているため）
- ・漫画やライトノベル等に人気があるが、その他の本への導入等を工夫実践する必要がある。

### 13. 棚づくり、展示等で工夫している点（主な回答）

小学校

- ・館内表示（子どもが自分で本を探す力がつくように） ・季節や行事等に合わせた展示、定期的な展示の見直し
- ・日本十進分類法に従った、流れがよい配置 ・ブックスタンドなどを活用し、表紙を見せた展示や平置き
- ・改修時に棚を増やしてもらえるように要望した。 ・読書や授業に集中できる環境づくり
- ・新着コーナーの設置、授業で勉強する作家などの関連図書の見出し ・書棚の活用

中学校

- ・なるべくイラストを使用したり、配色も明るい色をしようするようにしている。
- ・季節、時事、授業等、テーマに沿った展示 ・掲示物は一目でわかるよう、簡潔なものを心がけている。
- ・特集やコーナー作りの際は、生徒が親しみを持つように関連記事や小物も一緒に並べたりしている。

### 14. 司書教諭、学校図書館司書、担任で協力していること。（主な回答）

小学校

- ・図書の授業、教科授業等の資料提供についての打ち合わせ ・委員会活動 ・読書週間の取り組み
- ・支援が必要な児童へのサポート ・選書にあたっての意見交換 ・資料貸出、返却業務の協力
- ・ビブリオバトルの実施、おすすめ本のカードの作成

中学校

- ・図書館の資料を使った授業を行う場合の事前準備などの打ち合わせ（時には授業の計画段階からの打ち合わせに参加することもある） ・委員会活動 ・先生から司書へ、「購入希望図書」を教えてください。
- ・司書から先生へ、授業に使えるような「新規購入本」をお知らせする。
- ・担任に限らず、いろいろな先生方と連携を取り合っており、学校図書館の活用を進めている。

### 15. 多摩市立図書館が発行している児童・生徒向けの発行物（ブックリスト、利用案内、おはなし会のチラシ等）について（主な回答）

小学校

ブックリスト ・更新を希望する。 ・活用している。参考にしている。 ・全児童に配布しているが、活用に結びついていないと言いたい。  
おはなし会のチラシ ・クラスで説明したら、一度になくなってしまった。

中学校

- ・中学生向けのものは、生徒数配布してもらえるとありがたい。
- ・ティーンズ向けブックリストやブックコーナーがもっと充実すると、生徒も足を運びと思う。ティーンズに向けたメッセージが弱く、ティーンズコーナーと気づいていない生徒も多いと思う。
- ・講演会は10代の喜びそうな若手の作家でもよいと思う。

### 16. 多摩市立図書館ホームページ「こどものページ」が児童・生徒をはじめ保護者、教職員の方にも利用していただけるために、改善策として挙げられる事項（主な回答）

小学校

- ・教科書に沿った情報（特に調べ学習に使える資料があるとよい） ・PRしていく。参加型にしていく。
- ・ティーンズのおすすめの本が更新されていない。 ・本の表紙の画像付であるとよい。
- ・縦長ロールを一覧で表示できないか。
- ・保護者に対してはホームページ以前に図書館が身近な存在であることを伝える必要がある。
- ・教員にも気軽に貸出ができるようなサービスがあるとホームページを見る機会が増えると思う。
- ・子ども専用漢字などの表記も子供向けに変える工夫などをする。

中学校

- ・ティーンズ向けのページを作ったほうがよいと思う。（こどものページから独立させる）ティーンズは自分子どもだと思っていない。 ・学校備え付けのタブレットから図書館HP「こどものページ」を検索できるようになると、生徒が市立図書館の図書検索を習得することができると思う。
- ・調べ学習の主なテーマのパスファインダーの掲載、市立図書館と学校図書館の連携やそのPRを載せると保護者に理解してもらえるよい機会になる。 ・こどものページに限らないが、新着案内の表示の仕方が分かりにくい。（〇月〇日～〇月〇日に入った本としてもらえれば、分かり易くなる）
- ・各教科の教科書に掲載されている本、ティーンズ特有のテーマ（青春、恋愛、いじめ、部活等）、夏休みの課題に対応したコーナーなどがある利用されるのではと思う。 ・新しい掲載記事が出た場合は、メールでお知らせしてもらえると、それを印刷・掲示して生徒に知らせることができる。

## 17. 多摩市立図書館に要望すること（主な回答）

### 小学校

- ・調べ学習の図書の充実（データの新しい本、複本、同じテーマでも低学年用の本の充実）
- ・選書の情報の提供
- ・多摩市立図書館発行のブックリスト「よんでみよう」のセット本の団体貸出
- ・司書の利用者カードの貸出期間を1ヶ月に延長してほしい。
- ・資料の蔵書館を決めてほしい。
- ・学校図書館システムの使い勝手をよくしてほしい。
- ・図書館職員に専門性を身につけてほしい。
- ・銀行のような読書通帳
- ・子どもが市立図書館の本を学校で返せるようにしてほしい。
- ・移動図書館（水曜日の午後などに学校に来て欲しい）
- ・前年度の団体貸出の履歴がほしい。 ・図書司書との交流会や研修の機会を設けてほしい。

### 中学校

- ・学校図書館システムや多摩市立図書館ホームページへの検索を、学校図書館内や授業中に生徒のタブレットから出来るようにしてほしい。また検索した結果を印刷できる環境にほしい。
- ・学校図書館を利用している子どもでも、多摩市立図書館へ行ったことがない生徒が予想以上に多いのに驚かされる。生徒へのオリエンテーションの時に、図書館の方が来てもらいPRしてもらいたいと思う。
- ・新任学校図書館司書への研修、アドバイス等の実施
- ・利用者カードの登録の際、中学生は生徒手帳で登録できるとありがたい。（以前登録できずに残念がっていた生徒がいた）
- ・団体貸出制度を先生方の事前調べ・研究用でも借りられるようにしてほしい。（先生も事前調べが必要である）
- ・ティーンズ向けの読書会を企画してはどうでしょうか。

## 18. 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画策定に対してのご意見等（主な回答）

### 小学校

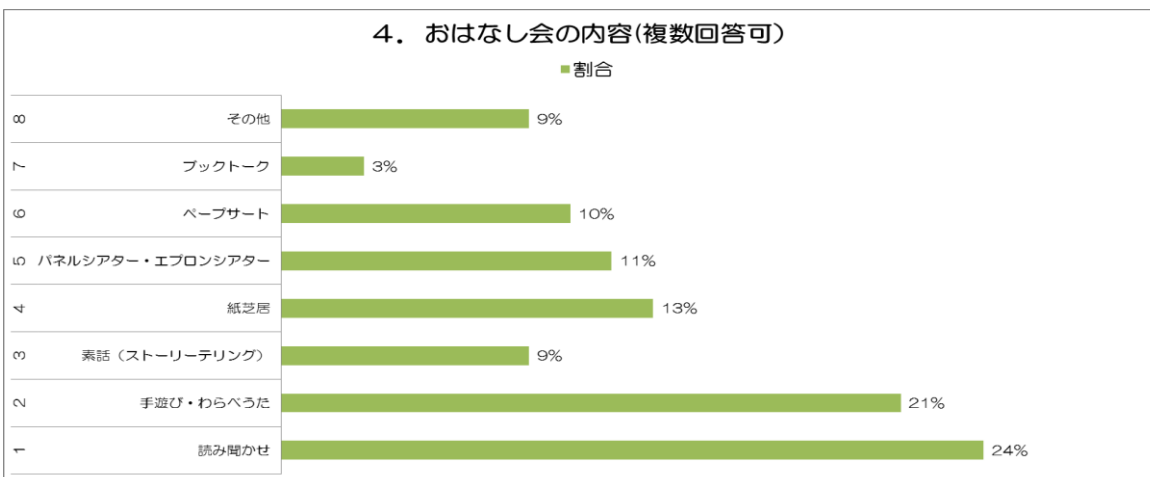
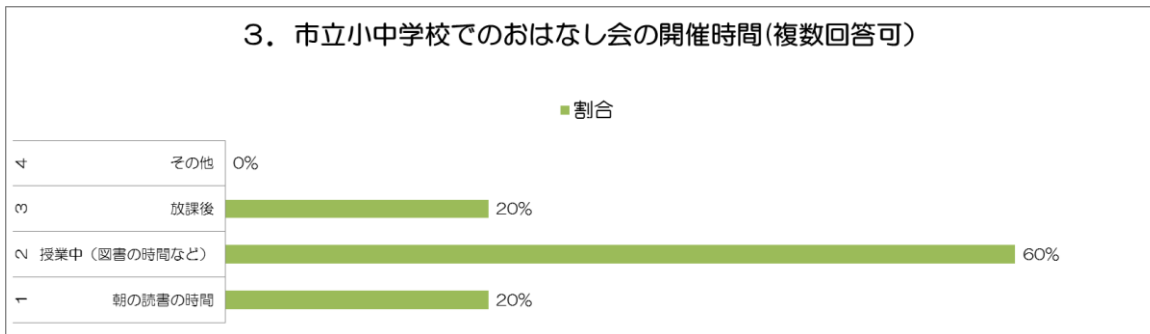
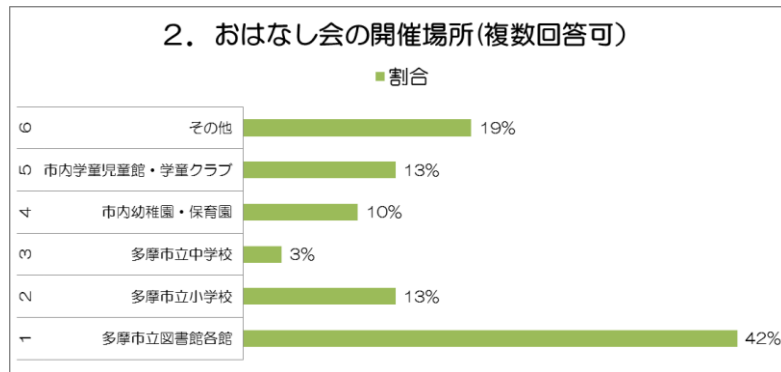
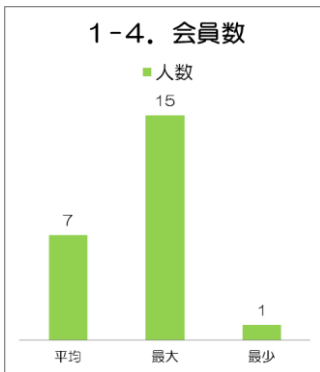
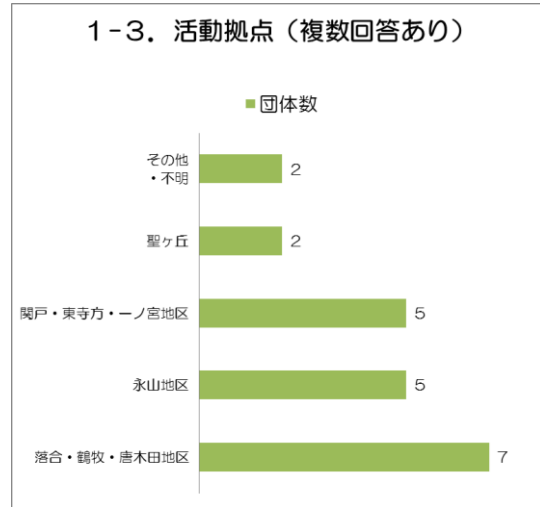
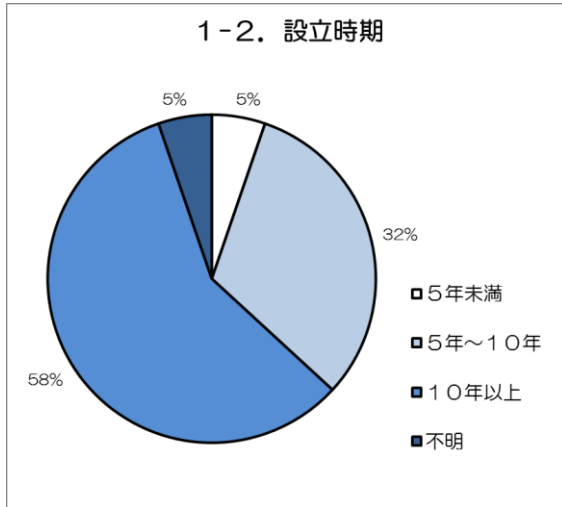
- ・調べるためのスキルを上げられるように、図書館（学校図書館の蔵書を含む）、学習スペース、職員の充実
- ・他地域の図書館活動なども見聞して、より良い運営をしてほしい。
- ・ブックスタートの手法の改善
- ・各学校の状況や個性に合わせた柔軟な計画にほしい。通知だけにとらわれないように。
- ・ほとんどフェスタでは、おはなし会だけでなく工作や絵本づくりを入れてほしい。

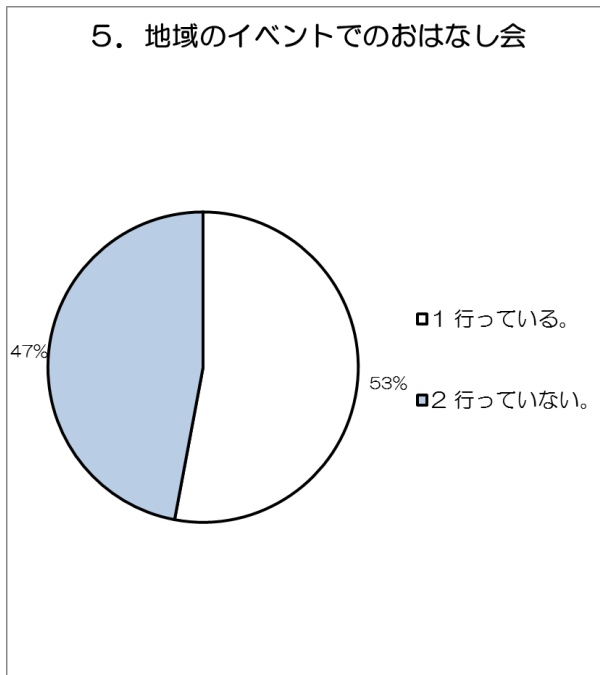
### 中学校

- ・合理的配慮について、公立図書館、学校図書館、専門家等がいかに連携協力していくかということも第三次計画では策定の重要な項目のひとつだと思う。合理的配慮を行うための研修等の機会をいただきたい。
- ・第一次、第二次に引き続き「すべての子どもに読書のよろこびを」をさらに推進してもらいたい。ESDを重点施策にもっと反映されてもよいと思う。
- ・これからも学校司書研修会に市立図書館の職員が来て、学校図書館の活動や様子を見てもらいたい。
- ・「スマホの代わりに本を！」ともっと語りかける必要があると思う。

## 多摩市立図書館におけるおはなし会等ボランティア団体へのアンケート結果

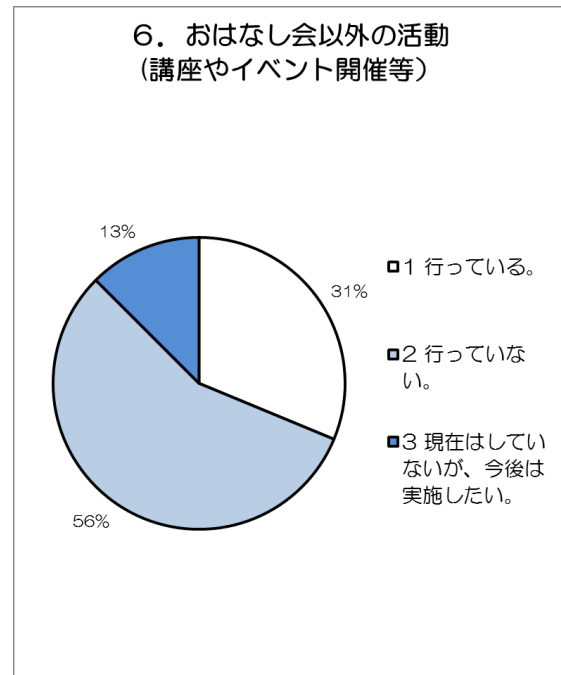
(回答団体数：19)





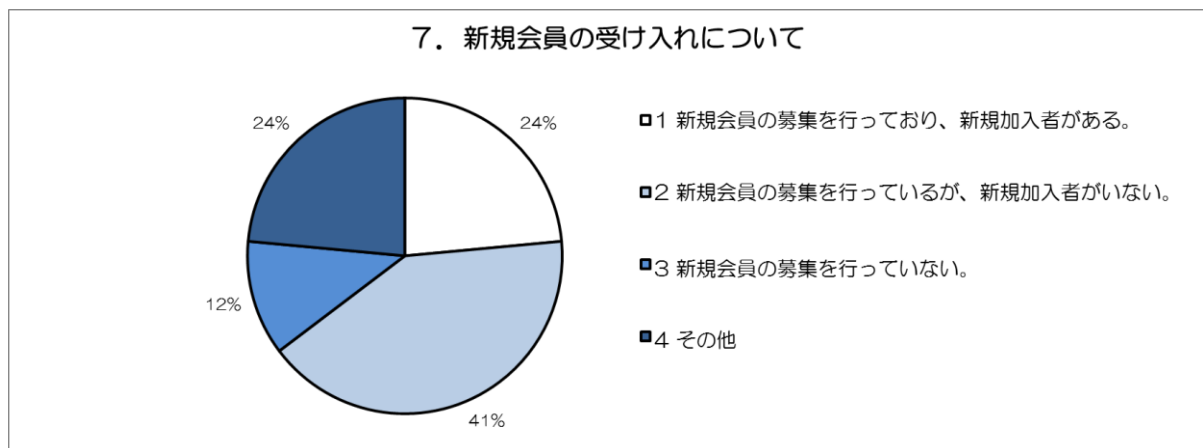
「行っている」の具体的なイベント名等（主な回答）

- ・文庫展の参加
- ・ボランティアまつり
- ・福祉館まつり
- ・コミセンのおまつり等



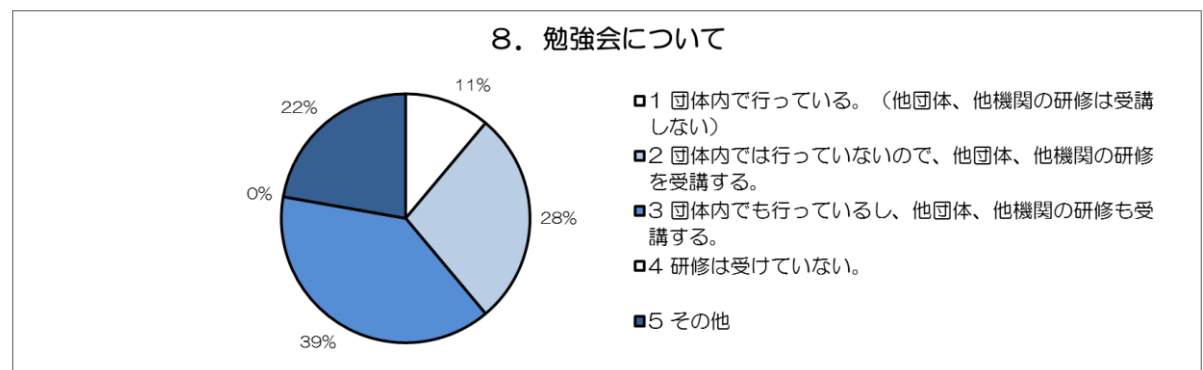
「行っている」の具体的な内容（主な回答）

- ・講師を招いての勉強会
- ・他団体との交流
- ・学校図書館見学



その他の内容（主な回答）

- ・口コミなどでお誘いはしているが加入者はない。
- ・募集は行っていないが、参加者がいれば受け入れたい。





## 9. 「第二次多摩市子どもの読書活動推進計画」の期間中 (平成24年～28年)で、以前よりも充実した活動や事柄

- 平成25年度東愛宕小おはなし会参加。25年～26年度啓文堂書店おはなし会。平成27年度都立多摩図書館見学、26年度南鶴牧小学校放課後子ども教室でおはなし会を始める。(原則月2回)、27年度南鶴牧小学校放課後子ども教室でおはなし会回数をふやす。(月3～4回)、図書館おはなしの広場に参加(27年度、28年度)
- 「子育て総合センターたまっこ」でのお話し会、「ふらっと麻の葉」での読み聞かせ、「ネコサボステーション」での読み聞かせ
- 新しい会員の方が研修に参加させていただいている。
- 平成27年度に「松岡享子さんのおはなしを楽しむ会」を開催(ヴィータにて)平成27年、28年度「図書館おはなしの広場」に参加、平成29年4月帝京大学附属小学校アフタースクールのお話会、関戸図書館のお話会に関戸図書館の職員が見学。
- 形として新しいものをめざすのではなく、こつこつとおはなし会などがとぎれないよう継続して実施する努力をするなかで、経験をつむことができ、内容としてはよりいいものができるようになってきている。
- 大型絵本の導入が進んだと思う。
- 図書館主催の講座、研修に積極的に参加し、良い学びができて、活動や技術力に反映しているように思う。
- H27.12 はじめて布の絵本コンクールに出品した。
- 定例会時の「子どもの本の学習」内容が、会員団体の工夫で充実してきている。研修活動で、研修プログラムを受講することで、子どもの本に関する基礎知識が深まってきている。市民連絡会の団体の交流会の実施で、情報交換ができ、活動の充実に役立っている。
- 東寺方図書館でのお話し会、啓文堂でのお話し会

(記入団体10団体)

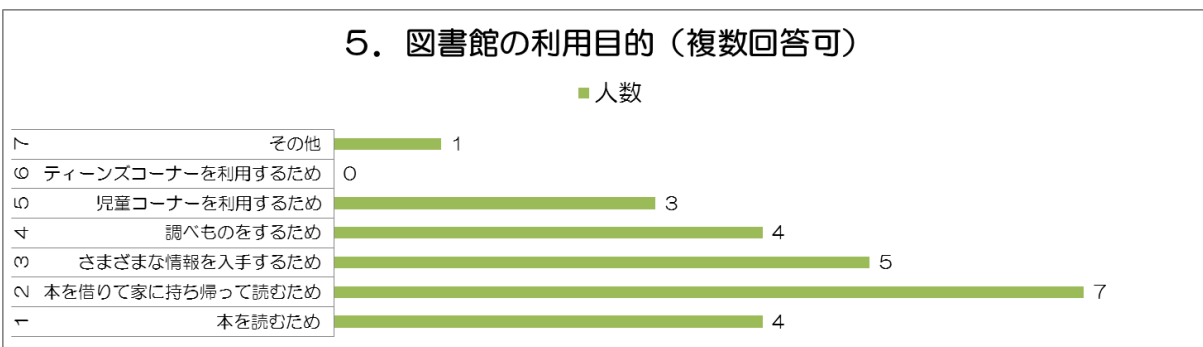
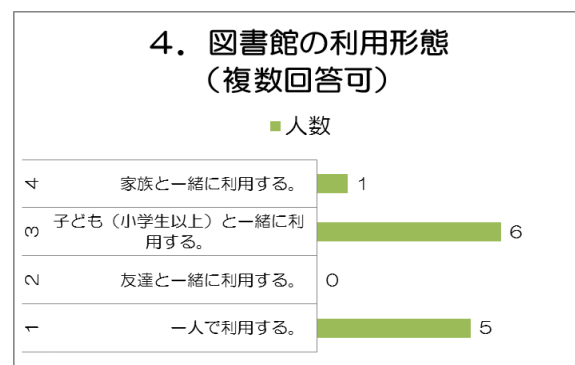
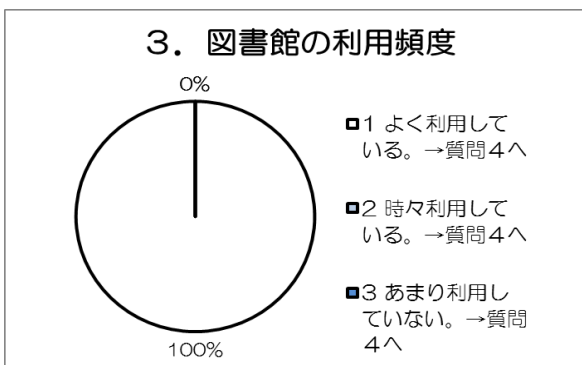
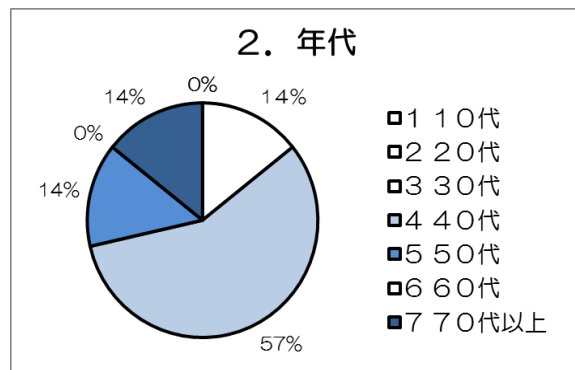
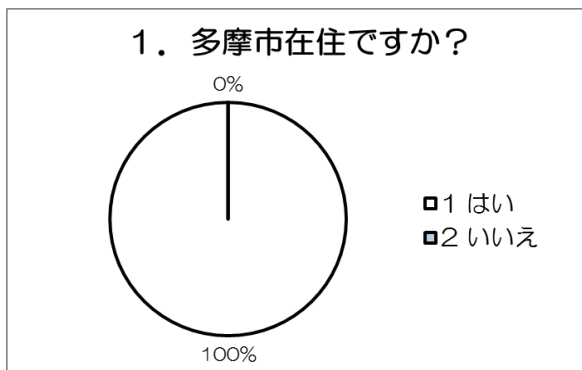
## 10. 第三次計画を策定する上で、多摩市における子どもの 読書環境の向上、読書活動の支援等の施策についての 団体からのご意見、ご要望等(主な回答)

- ボランティアに対する研修の充実
- 職員の専門性の向上、情報提供能力の向上
- 地域図書館全館での「あかちゃんおはなし会」の実施
- あかちゃんおはなし会に関わる職員、ボランティアの研修、交流
- 東寺方図書館の存続
- 市民連絡会にかかわる団体だけでなく、もっと広い範囲での交流
- 大型絵本や紙芝居の充実、リストの配布
- 子どもたちが図書館に来るのを待つだけではなく、学校、幼稚園、図書館へ出て行くことが大切。
- 図書館がボランティアを育てる仕組みを考えてほしい。
- 活動団体の交流の場を設けて欲しい。(1年に1回くらい)

(記入団体15団体)

## 小学生以上の子どもをもつ保護者、18歳以上の方へのアンケート結果 (図書館来館者、インターネット)

(回答者数：7人)



### 6. 子どもの読書環境の向上のために、図書館へ要望すること (主な回答)

- 多摩市の図書館は開館時間が短いと思うことはあるが、あまり不満をもったことはない。子ども達に来てもらうために何が必要なのかを考えるべきである。
- 中高生が読みたくなるような雰囲気があるコーナーがあったりするとよい。
- 稲城市立図書館のようなDVD映像によるよみきかせブースが欲しい。
- 子ども一人で来ても良いんだよという感じ、長居してもよいと思える雰囲気があるとよい。
- 検索機能やレファレンスをうまく使いこなせない子どもにとって、今の図書の配置は探すのが難しそうである。もっと感覚的に分かりやすいものになればよいと思う。

### 7. 「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」を策定する上で、これから多摩市における子どもの読書環境の向上、読書活動の支援等の施策についてのご意見、ご要望 (主な回答)

- やはり近くにあることが一番である。地域館を存続させてほしい。
- 子どもパスなど作ってみてはどうか？スタンプカードでもよい。(図書館で本を読んだら、図書館に来たらスタンプを押してもらえるもの) ・図書館に行きたいと思えるような雰囲気づくり。
- 読書通帳の導入を希望する。(記録は子どもたちの楽しみとなり、もっと本に親しむきっかけになると思うので)